

# 住宅リフォーム提案事例 その2

左大腿骨骨折 80歳代 女性



●日常生活能力

- ・起居 自立
- ・食事 自立
- ・排泄 自立
- ・入浴 自立
- ・移動 自立
- ・洗面 自立

●家族構成及び介助の状況

- ・一人暮らし

●身体状況

- ・左大腿骨骨折により、人工骨頭置換術で2ヶ月の入院

●介護状況

- ・介護保険 工事依頼時に要介護度2となる

●住まいの状況

- ・家屋は古く、店舗兼用住宅のため、あらゆる所に大きな段差がある
- ・仕事 なし
- ・住宅の改修経験 なし

●改修工事前の状況

- ・便器は和式両用便器を使用している
- ・居間からトイレに行く際には、土間を歩いていく必要がある
- ・居間と土間の間には約50センチの段差がある
- ・段差解消には、簡単な空箱が置いてあって危険

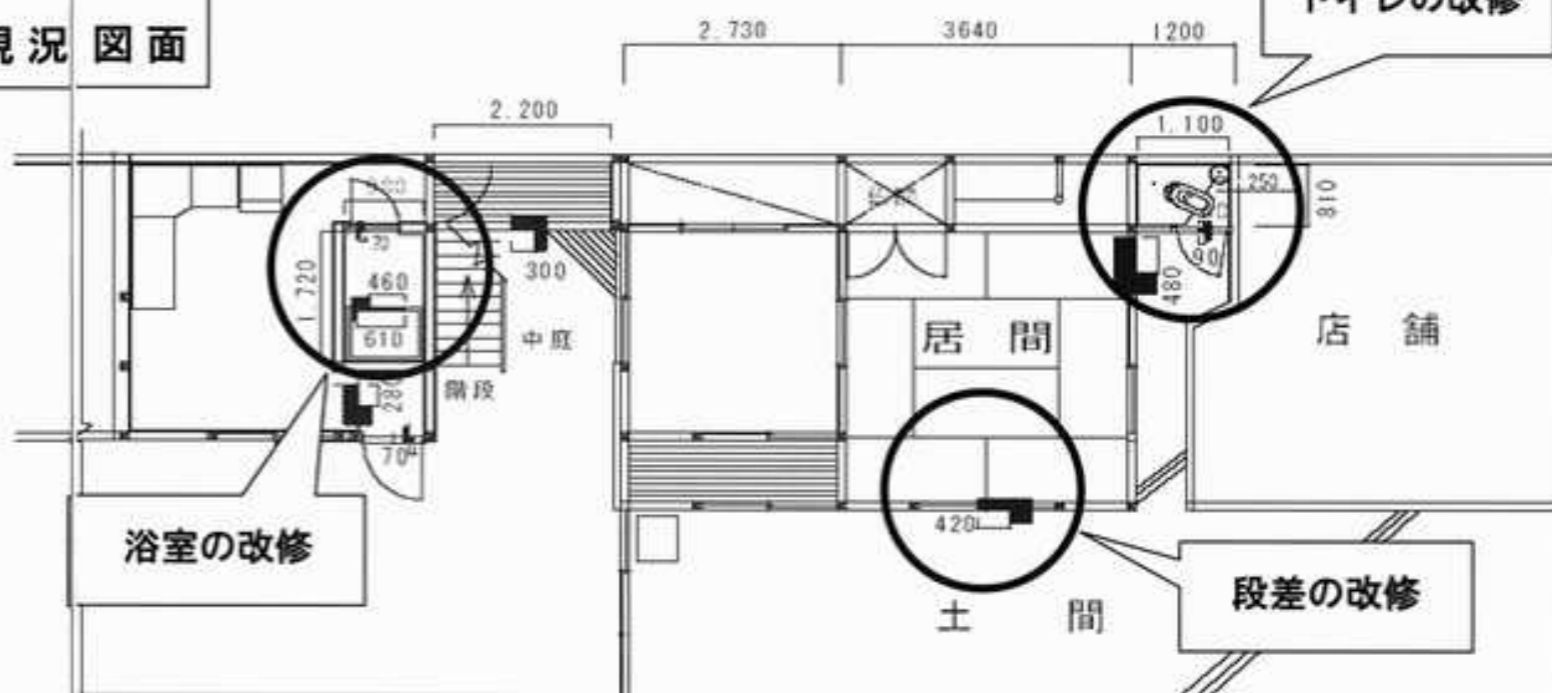


●改修工事のポイント

- ・トイレは洋式便器とし、段差のあるところでは、手すりを軸にすることで方向転換の安全性を保つようにするため、式台と手すりを設けた。
- ・居間から土間へは、安全に上り下りができるように、手すりと式台を設置した
- ・浴室は、浴槽への出入り及び立ち上がり補助と入口から浴槽まで移動する際の転倒防止のため、手すりとシャワーチェアを設けた（シャワーチェアは福祉用具購入）

●提案、施工：ザン・ハウス（あいち福祉住環境研究会）

現況図面



リフォーム後写真



手すりと式台で段差を解消



手すりを活かして安全に移動



手すりとシャワーチェアでゆったり入浴

※本人が、今までどおり住み慣れた自宅一人で暮らしたいという強い希望をもっていたため、その希望を叶えるべく住宅リフォームを行った。リフォーム直後から1週間程度娘さんが同居して手助けをしたこともあり、現在は自立して一人暮らしをしている。